



焼津市デジタル 田園都市構想総合戦略

～よろこびと安らぎあふれる 夢をかなえるまち焼津～

2024-2028

ごあいさつ

我が国は、人口減少・少子高齢化社会に突入しており、これらの課題を克服するため、国においては平成 26 年に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、人口減少の克服と地方の活性化を掲げ、「地方創生」の取り組みを推進しております。

本市においても、平成 27 年 10 月に「焼津未来創生総合戦略」を策定し、「雇用」、「移住・定住・交流」、「子育て」、「地域連携等」、「若者との共創」の5つの基本目標を掲げ、持続可能なまちを作るための様々な施策を展開してまいりました。

令和2年3月には、「第2期 焼津未来創生総合戦略」を策定し、第1期で掲げた5つの基本目標を充実させ、本市の産業や観光などの豊かな地域資源をさらに磨き上げていくための施策を進めて参りました。

近年のデジタル技術の進展は目覚ましいものがあり、特に、リモートワークや各種オンラインサービスが、私たちの生活の中に広く浸透してきました。人口減少や少子高齢化が今後ますます進む中で、多様なデジタル技術を活用することは、地域の課題解決と経済発展を両立させる上で不可欠であると考えています。

国においても、「全国どこでも誰もが便利に快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、デジタル技術の活用によって、地域の個性を生かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化することとしています。

こうした背景を踏まえ、本市においても地域の課題解決と経済発展をデジタル技術の活用により加速させるために「焼津市デジタル田園都市構想総合戦略」を策定しました。

焼津市デジタル田園都市構想総合戦略では、第1期・第2期の総合戦略で掲げていた基本目標を充実させ、デジタル技術を活用しながら後世に繋げていくための施策を進め、将来を担う子どもたちが、焼津で暮らすことに誇りと愛着を持てるまちにしていきたいと思います。

結びに、本戦略策定にあたり多大なるご支援を賜りました、産業界、金融機関をはじめ、関係する多くの皆様に対し、厚く御礼申し上げますとともに、持続可能な豊かな地域社会の実現に向け、さらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。



令和6年3月 焼津市長

中野弘道

目次

第1章 総論.....	8
1. 背景・目的	8
2. デジタル田園都市国家構想の基本的な考え方.....	9
3. 位置づけ.....	10
4. 計画期間	10
5. マネジメント手法	10
6. 策定過程	11
第2章 焼津市を取り巻く状況、人口動向が将来に与える影響	14
1. 焼津市を取り巻く状況	14
(1) 人口動向.....	14
(2) 出生・子育てに関する動向	24
(3) 産業の動向	26
(4) 観光の動向	30
2. 人口動向が将来に与える影響	32
(1) 介護、医療への影響	32
(2) 子育て、教育への影響	34
(3) 都市への影響	36
(4) 経済への影響	38
第3章 人口ビジョン	42
1. 推計結果と人口動向の将来的影響.....	42
(1) 将来人口推計の目的	42
(2) 推計手法	42
(3) 推計結果と将来的影響.....	42
2. 人口の動向	44
(1) 人口推移と推計	44
(2) 年代別人口構成.....	45
3. 将来目標人口	46
(1) 将来目標人口の考え方	46
(2) 将来目標人口の設定.....	46
第4章 総合戦略	50
1. 第2期総合戦略の成果.....	50
(1) 第2期総合戦略の概要.....	50
(2) 第2期総合戦略の成果	50
2. デジ田総合戦略の全体像	51
(1) 地域ビジョン(地域が目指すべき理想像).....	52
(2) 戦略の基本目標、施策.....	52

第 1 章 総論

第1章 総論

1. 背景・目的

人口減少・少子高齢化という課題に対し、政府一体となって取り組み、将来にわたって活力ある日本社会を維持する観点から、2014 年9月、内閣にまち・ひと・しごと創生本部が設置され、同年12 月には中長期的な展望を示した「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び5か年の目標や施策の基本的方向及び具体的な施策をまとめた、第1期の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。本市においても国のこうした動きを踏まえ、焼津市のおかれている現状実態をふりかえり、焼津市が抱えている課題解決に向けて行う施策を整理し、未来のまちづくりの方向性を示すものとして、「第1期 焼津未来創生総合戦略」を2015 年10 月に策定しました。

その後、国において「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン(令和元年改訂版)」及び「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されたことから、本市においても、「第2期 焼津未来創生総合戦略」(以下、「第2期総合戦略」という)を2020 年3月に策定し、総合戦略で設定した5つの基本目標を充実させ、焼津市の産業や観光などの豊かな地域資源をさらに磨き上げ、後世につなげていくための施策を進めています。

さらに、国では「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、デジタル技術の活用によって、地域の個性を生かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化させ、構想の実現を図るため第2期「まち・ひと・しごと創成総合戦略」を抜本的に改訂した「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定しました。

本市も、国の方向性等を踏まえ、地域が抱える社会問題の解決を自ら図るため、「地域ビジョン(地域が目指すべき理想像)」を再構築し、あわせて将来目標人口についても第2期総合戦略設定時から見直しを実施しました。そして、焼津未来創生総合戦略を発展させ、地域活性化の取組を推進していくことを目的とし、「焼津市デジタル田園都市構想総合戦略」(以下、「デジ田総合戦略」という)を策定しました。

2. デジタル田園都市国家構想の基本的な考え方

国は、デジタル田園都市国家構想を地方の社会課題を成長のエンジンへと転換し、持続可能な経済社会の実現や新たな成長を目指すとしています。この構想の実現により、地方における仕事や暮らしの向上に資する新たなサービスの創出、持続可能性の向上、個人や社会の幸福(Well-being)の実現等を通じて、デジタル化の恩恵を国民や事業者が享受できる社会、いわば「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指しています。

国のデジタル田園都市国家構想総合戦略の基本的な考え方

総合戦略の基本的考え方	
● テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、社会情勢がこれまでとは大きく変化している中、今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化し、「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す。 ● 東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。 ● デジタル技術の活用は、その実証の段階から実装の段階に着実に移行しつつあり、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、デジタル田園都市国家構想交付金の活用等により、各地域の優良事例の横展開を加速化。 ● これまでの地方創生の取組も、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進していくことが重要。	
施策の方向	
デジタルの力を活用した地方の社会課題解決	デジタル実装の基礎条件整備
①地方に仕事をつくる ②人の流れをつくる ③結婚・出産・子育ての希望をかなえる ④魅力的な地域をつくる	①デジタル基盤の整備 ②デジタル人材の育成・確保 ③誰一人取り残されないための取組

出典：デジタル田園都市国家構想総合戦略(令和4年12月23日閣議決定)

3. 位置づけ

総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき策定し、行政経営の最上位計画である総合計画に位置付けた政策・施策のうち、人口減少や少子高齢化の対策を図ることにより、総合計画の将来都市像「やさしさ 愛しさ いいもの いっぱい 世界へ広げる 水産文化都市 YAIZU」の実現を目指します。

4. 計画期間

計画期間は2024年度から2028年度までの5年間とし、施策の進捗状況や情勢の変化を考慮しながら、必要に応じて見直しを行います。

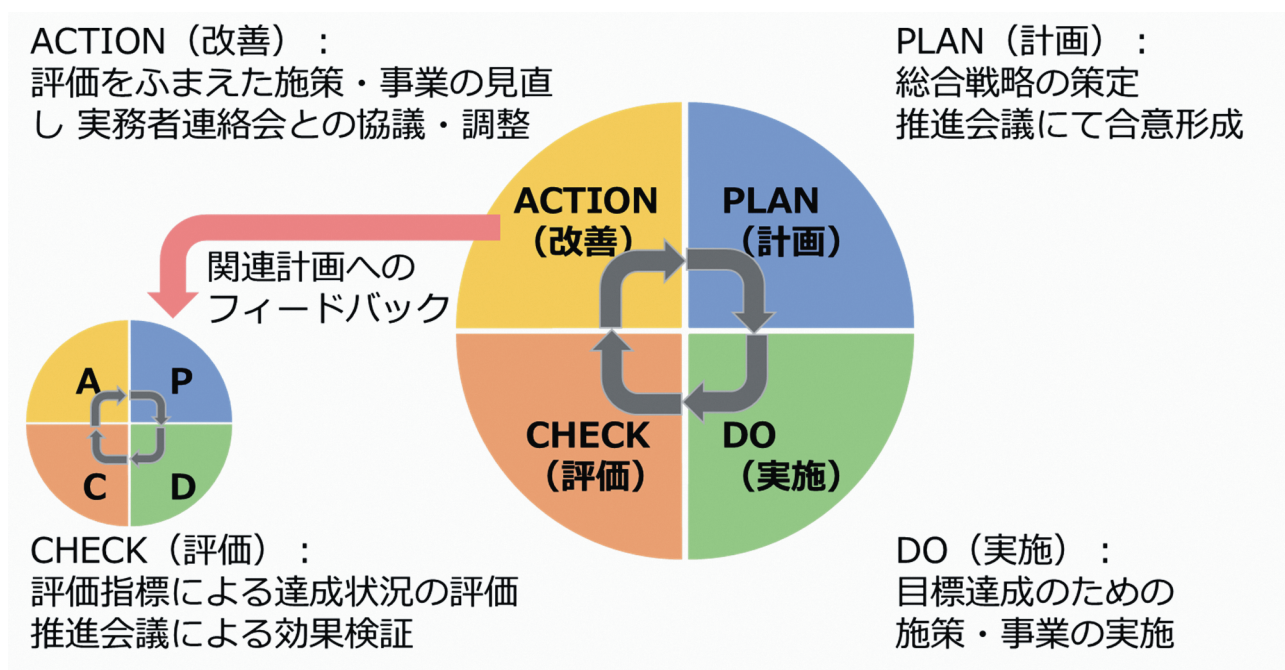
5. マネジメント手法

デジ田総合戦略を着実に実現するために、基本目標ごとに重要目標達成指標(KGI)を設定し、基本目標を推進する施策それぞれにも重要業績評価指標(KPI)を設定します。

各指標の評価、適切なフォローアップによる効果検証により改善を行うPDCAサイクルを構築し、確実な施策・事業の推進、実現を図ります。PDCAサイクルの計画(PPLAN)、実施(DO)、評価(CHECK)、改善(ACTION)の実施は、行政評価により管理・運営します。PDCAサイクルは総合戦略内にとどまらず、関連計画へのフィードバックも実施します。

加えて、外部委員からなる「焼津未来創生総合戦略推進会議」や、事業推進に向けた連携団体からなる「焼津未来創生総合戦略実務者連絡会」を開催し、施策・事業の見直しや協議調整を行います。

PDCAサイクルの考え方



6. 策定過程

デジ田総合戦略の策定にあたり、以下の調査、会議を実施しました。

基礎調査

実施概要	社会経済動向、主要な統計指標の推移、将来人口の見通しなどを踏まえ、将来の焼津市の課題や特徴を客観的に整理
------	--

市民アンケート

調査期間	令和5年7月18日～令和5年7月31日
調査対象	焼津市公式LINEに登録している市民
調査方法	Web回答
有効回答数	2,588件
実施概要	以下の観点で市民意識調査を実施 ①住みやすさ ②結婚・出産・子育て ③産業振興 ④デジタル技術活用

有識者インタビュー

開催日時	令和5年8月下旬～9月上旬（オンライン）
対象者	学識経験者
実施概要	次期戦略において注力すべき分野と施策の方向性について有識者からご意見を聴取

焼津未来創生総合戦略推進会議

開催日時	令和5年6月29日（木） 令和5年10月5日（木） 令和6年2月6日（火）
参加者	学識経験者、経済・労働関係団体、福祉関係団体、金融機関、報道関係、公募市民 16名 オブザーバー 2名
実施概要	第1回：令和4年度事業の実績確認、人口動態の確認 第2回：目標人口、地域ビジョン、基本目標、施策体系の検討 第3回：目標人口、地域ビジョン、基本目標、施策体系の検討・確定

市議会

開催日時	令和5年12月7日（木） 総務文教委員協議会 令和6年2月8日（火） 市議会全員協議会
参加者	総務文教委員協議会 市議会全員協議会
実施概要	【総務文教委員協議会】 目標人口、地域ビジョン、基本目標、施策体系の検討 【市議会全員協議会】 目標人口、地域ビジョン、基本目標、施策体系の検討・確定

市民ワークショップ

開催日時	令和5年9月4日（月）
参加者	焼津市に在住または通勤・通学している20代、30代の方 25名
実施概要	市の現状と課題を踏まえ、次期戦略の基本目標4「魅力的な地域をつくる（仮）」をテーマにキーワード等の意見収集を実施

実務者連絡会

開催日時	令和5年9月7日（木）
参加者	関係団体の実務者、所管課の課長級
実施概要	これまでの取組、課題点を議論し、基本目標配下の「施策の基本的方向」に関して検討

庁内ワーキンググループ

開催日時	令和5年9月13日（水） 令和5年11月21日（火）
参加者	関係所管課職員
実施概要	第1回：「施策の基本的方向」及び配下で展開する「施策（案）」の検討 第2回：施策体系、紐づく事業、成果指標の検討

焼津未来創生総合戦略本部会議

開催日時	令和5年6月23日（水） 令和5年10月31日（火） 令和6年1月31日（水）
参加者	市長、副市長、教育長、市長戦略監、各部長、最高デジタル責任者
実施概要	第1回：令和4年度事業の実績確認、人口動態の確認 第2回：目標人口、地域ビジョン、基本目標、施策体系の検討 第3回：目標人口、地域ビジョン、基本目標、施策体系の検討・確定

